

平成 22 年度(2010 年度)事業計画

本財団寄附行為「事業(第 5 条)」に基づき下記の事業を行う。

I 音楽祭・音楽会事業

(1) **第 31 回霧島国際音楽祭**

《概要》 主催 鹿児島県、(財)ジェスク音楽文化振興会、(財)鹿児島県文化振興財団

日程 2010 年 7 月 22 日(木)～8 月 8 日(日)

会場 霧島市 みやまコンセール(霧島国際音楽ホール) ほか

《事業内容》 講習会(マスタークラス) 8 コース/12 クラス

演奏会 約 25 公演 (有料 15、アウトリーチ 2、ワークショップ、関連事業)

(上記以外に、ロビーコンサート、足湯コンサート等、約 15 公演)

講師・アーティスト 約 50 人 受講生 約 150 人

1980 年ゲルハルト・ボッセ(現・名誉音楽監督)と、鹿児島市民の手で立ち上げられた音楽祭。当初、任意の民間団体が主催・運営していたが、1984 年にジェスク音楽文化振興会が設立され、翌 85 年から主催に参加。霧島温泉郷(霧島市)で開催される音楽祭は、今日では日本有数の歴史と内容を誇る音楽祭として、アジアを中心に年々受講生・観客も増加するなど注目を集めており、2009 年に記念すべき第 30 回を迎えた。第 31 回はこの先 10 年から 30 年を見据え「世界への発信」、「地元密着」、「フェスティバル性」をキーワードに、さらなる芸術的発展、財政的成功を目指す。

1. 演奏会について

第 30 回の成功を引き継ぎ、さらなる発展を見据え、以下のような公演を行う。なお音楽的には生誕 200 年のショパン、シューマンをサブ・テーマに据え、プログラミングを行う。

① みやまコンセールでの公演：

第 30 回で評判の高かった「オープニング・スペシャル・ガラ・コンサート」、「ピアノ！ピアノ！！ピアノ！！」、「ファイナル・コンサート」のほか、前回、鹿児島市民文化ホールで実施した「チェロ・オーケストラ」を実施する。また音楽祭の精神的な柱であるが集客の厳しい室内楽は、「音楽の散歩」と題し 45 分枠 ¥1000 円の公演を土日に集中して開催することで、集客増を目指す。このほかに、「ファミリー・コンサート」、受講生による「若い音楽家たちのコンサート」、「室内楽クラス・コンサート」などを実施する。

② みやまコンセール以外のプレ・イベントとしての公演：

「鹿児島県庁ふれあいコンサート」、「鹿児島大学ふれあいコンサート」、
「霧島神宮かがり火コンサート」「3歳～未就学児のためのコンサート・県交流センター」他

③ 鹿児島市内での公演：

「ザビエル教会コンサート」、「宝山ホール公演」、新たに開催する「鹿児島県民交流センター～能舞台 公演」

④ 霧島市内（国分隼人地域への重点強化）：

霧島市民会館での「ワンコイン・コンサート」、市内の学校への訪問

④ その他の公演：

「アウトリーチ・シリーズ」（湧水町くりの郷、上野原縄文の森）

出演は、例年のメンバーに加え、昨年初めて参加した鹿児島出身の指揮者 下野竜也、鹿児島交響楽団が再度出演するほか、かがり火コンサートとザビエル教会コンサートには錦織健、霧島市民会館には仲道郁代、またファイナル・コンサートには、ベルリン・フィルコンサートマスターが内定している榎本大進を招く。

2. 講習会(マスタークラス)について

創設者ゲルハルト・ボッセ教授の理念「自立できる音楽家の養成」を中心に、独奏、室内楽、オーケストラ演奏の体験と技術の習得はもとより、教授・アーティストと受講生が一体となった全人格的カリキュラムを組む。

本音楽祭は室内楽のレッスンを特色としており、受講生と教授・アーティストがグループを編成しレッスンと演奏会を行い、他に類を見ないカリキュラムを実施する。

●開設マスタークラス

コース	定員	マスタークラス教授
ヴァイオリン (3クラス)	各クラス 10名程度	ダニエル・ゲーデ(元ウィーン・フィルコンマス、ニュルンベルク音楽大学教授) 藤原 浜雄 (読売日本交響楽団ソロ・コンサートマスター) 景山 誠治 (東京音楽大学教授 第1回音楽祭受講生)
ヴィオラ	10名程度	店村 眞積 (NHK 交響楽団ソロ首席)
チェロ	10名程度	堤 剛 (当音楽祭音楽監督、桐朋学園大学・大学院大学学長)

フルート	10名程度	ポール・エドモンド=デイヴィス (フィルハーモニア管弦楽団首席)
ピアノ (3クラス)	各クラス 10名程度	クシシュトフ・ヤブウォンスキ(ショパンコンクール3位、ショパン音楽院教授) 練木 繁夫 (インディアナ大学教授) 若林 顕(エリザベート王妃国際コンクール第2位、桐朋学園大学院大学教授)
トランペット	10名程度	高橋 敦 (東京都交響楽団首席、洗足学園大学准教授)
ホルン	10名程度	西條 貴人 (東京都交響楽団首席、東京芸術大学講師)
室内楽	個人応募 および 団体応募	松原 勝也 (東京芸術大学准教授) 田中 雅弘 (東京都交響楽団首席 第1回音楽祭受講生) 練木 繁夫 (インディアナ大学教授) 若林 顕 (桐朋学園大学院大学教授)

特 別 レッスン	松原勝也、田中雅弘、	室内楽	希望者
	小森谷 巧	オーケストラ・スタディ	希望者 (ヴァイオリン)
	ポール・エドモンド=デイヴィス	オーケストラ・スタディ	希望者 (フルート)
	高橋 敦	オーケストラ・スタディ	希望者 (トランペット)
	西條 貴人	オーケストラ・スタディ	希望者 (ホルン)

(2) 第5回 仙台クラシック・フェスティバル (せんくら) 2010

《概 要》	<u>主 催</u>	仙台市、仙台放送、仙台市文化事業団
	<u>企画・制作</u>	ジェスク音楽文化振興会
	<u>日 程</u>	2009年10月1日(金)～3日(日)
	<u>会 場</u>	仙台市青年文化文化センター、イズミティ21ほか
《事業内容》	<u>演奏会</u>	

仙台クラシックフェスティバル (せんくら) は仙台市の新しい取組みとして2006年より始まり、昨年2009年からは実行委員会を主体とした運営に変わる。そこで、仙台市文化事業団より当財団への依頼があり、第4回から企画・制作として当財団が関わることとなった。主催の中心は仙台放送 (フジテレビ系)。仙台市は委託金を支払い共催している。

朝から晩まで4施設10会場で同時併行的に45分間 (2会場のみ60分) のコンサートが3日間で101公演繰り広げられる。演奏者は地元仙台フィルのほか、旬の若手やビッグネームがずらりと並

び、入場料が1コマ¥1000～2000円の低料金で気軽にクラシックの名曲を楽しむというコンセプト。第4回は、のべ3万3千人の来場者で終了した。

第5回の出演予定は米良美一、鈴木慶江、坂本朱、中鉢聡、横山幸雄、三浦友里枝、三船優子、イリナ・メジェーエワ、及川浩治、仲道祐子、前橋汀子、松山冴花、漆原啓子、奥村愛、西江辰郎、川久保賜紀、長谷川陽子、遠藤真理、須川展也、赤坂達三、高木綾子、曾根麻矢子、吉野直子、小松亮太、宮本文昭、福田進一、パスカル・ドゥヴァイヨン、シエナ・ウィンド・オーケストラ 他。仙台国際コンクール、ピアノ・ヴァイオリン部門歴代優勝者も参加。

(3) **第9回みやざきザハール・ブロン音楽祭**

《概要》	<u>主催</u>	財団法人宮崎文化振興協会	みやざきザハール・ブロン音楽祭実行委員会
	<u>企画協力</u>	ジェスク音楽文化振興会	
	<u>日程</u>	2010年12月（日程調整中）	
	<u>会場</u>	宮崎市民プラザ ほか	
《事業内容》	<u>演奏会と講習会</u>		

宮崎出身の作曲家 故寺原伸夫氏と親交のあったヴァイオリン教授のザハール・ブロンが宮崎で行なってきた公演を発展させ、2002年より「みやざきザハール・ブロン音楽祭」として開催。ブロンによる演奏会、小中学生への普及企画、公開レッスンなどから構成される。演奏会にはブロンの門下生(08年度は川久保賜紀、09年度は木嶋真優)も出演。

(4) **第7回クールシュヴェール国際音楽アカデミーin かさま**

《概要》	<u>主催</u>	クールシュヴェール国際音楽アカデミーinかさま実行委員会	
	<u>企画・制作</u>	ジェスク音楽文化振興会	
	<u>日程</u>	2011年3月（日程調整中）	
	<u>会場</u>	茨城県教育研修センター ほか	
《事業内容》	演奏会と講習会		

フランスのリゾート地クールシュヴェールで毎夏開催される「クールシュヴェール夏季国際音楽アカデミー」の日本版として、2005年から茨城県の笠間市で開催。桐朋学園大学弦楽科主任教授

辰巳明子音楽監督のもと、本国アカデミーの芸術監督を務めるドン・スーク・カン教授（ヴァイオリン）とパスカル・ドゥヴァイヨン教授（ピアノ）のほか、ザハール・ブロン教授（ヴァイオリン）も招聘。10歳から大学生まで幅広い年齢層の将来を担う逸材が多数参加。

(5) **第15回 浜松国際ピアノアカデミー**

《概要》 主催 浜松市、浜松市教育委員会、財団法人浜松市文化振興財団
企画・構成 ジェスク音楽文化振興会
日程 2011年3月11日（金）～20日（日）
会場 浜松市アクトシティ音楽院 ほか
《事業内容》 講習会と演奏会

浜松市の財政事情で、2009年度（2010年3月）開催が1年休止されていたが、今年度正式に復活が決定。アジア・ヨーロッパ、北米からの24名の受講生を迎える。今年度は「アジアの時代」（仮）と称し、近年活躍目覚ましい韓国やアジア圏の教授を招聘する予定。昨年11月開催の浜松国際ピアノ・コンクールでは、同年3月開催の第14回本アカデミー参加者で優勝者でもある韓国の15歳チョ・ソンジンが優勝。更なるコンクールとの連携、関連事業としての位置づけを確立。

(6) **第7回 浜松国際ピアノコンクール 優勝者ツアー（国内）**

《概要》 招聘 財団法人浜松市文化振興財団、浜松国際ピアノコンクール事務局
マネジメント ジェスク音楽文化振興会
日程 2010年3月10日（水）～ 23日（火）
2010年6月30日（水）～7月28日（水）
会場 東京オペラシティ、浜松アクトシティ ほか。
《事業内容》 リサイタル およびオーケストラ共演

第7回浜松国際ピアノアカデミー優勝者 チョ・ソンジン（韓国 15歳）の日本国内優勝者ツアーのマネジメント制作を、浜松市文化振興財団より委託された。ツアー日程は次の通り。

3月12日(金)	東京オペラシティ コンサートホール	(リサイタル)
3月16日(火)	カワイ表参道コンサートサロン『パウゼ』	(リサイタル)
3月18日(木)	愛知県芸術劇場コンサートホール	名フィル 指揮：小林研一郎
3月21日(日)	アクトシティ浜松 中ホール	(リサイタル)
7月8日(木)	札幌コンサートホール kitara	PMF オーケストラ 指揮：A. ビューロー
7月11日(日)	アクトシティ浜松 中ホール	浜松交響楽団 指揮：松岡 究
7月16日(金)	NHK ホール	NHK交響楽団 指揮：M. フスマン
7月17日(土)	ザ・シンフォニーホール	NHK交響楽団 指揮：M. フスマン
7月18日(日)	愛知県芸術劇場コンサートホール	NHK交響楽団 指揮：M. フスマン
7月19日(月)	アクロス福岡シンフォニーホール	NHK交響楽団 指揮：M. フスマン
7月21日(水)	浜松アポロホール	(リサイタル)
7月23日(金)	庄内町文化創造館 [響ホール]	(リサイタル)
7月27日(火)	ヤマハホール	(リサイタル)

(7) **庄司紗矢香 ジャンルカ・カシオーリ ヴァイオリン・リサイタル ツアー2010**

《概要》	<u>主 催</u>	ジェスク音楽文化振興会 (各公演地は各主催者)
	<u>日 程</u>	2010年10月23日(土)～11月8日(月)
	<u>出 演</u>	庄司紗矢香 (ヴァイオリン)、ジャンルカ・カシオーリ (ピアノ)
	<u>会 場</u>	サントリーホール(東京)、いずみホール(大阪) ほか。
	<u>曲 目</u>	オール・ベートーヴェン プログラム ヴァイオリン・ソナタ 第5番 ヘ長調 「春」 第9番 イ長調 「クロイツェル」 ほか

《事業内容》 演奏会 主催と招聘マネジメント ツアー日程は以下の通り。

10月23日(土)	長野／八ヶ岳音楽堂
10月26日(火)	福岡／アクロス福岡シンフォニーホール
10月28日(木)	仙台／電力ホール
10月30日(土)	富山／入善町民会館コスモホール
10月31日(日)	埼玉／彩の国さいたま芸術劇場
11月2日(火)	名古屋／電気文化会館ザ・コンサートホール
11月5日(金)	大阪／いずみホールザ・コンサートホール
11月6日(土)	川崎／ミューザ川崎シンフォニーホール
11月8日(月)	東京／サントリーホール

庄司紗矢香とイタリア人ピアニスト、ジャンルカ・カシオーリとのCDリリースに伴い(ドイツ・グラムフォン)、サントリーホールをはじめ、全国9箇所でのオール・ベートーヴェン プログラム・ツアーを予定。

庄司紗矢香は日本での所属マネジメントがなく、本人とロンドンのGMより日本でのリサイタル・ツアーを当財団に依頼され実現。

II. 音楽講習会事業

(1) 「芸術家への道」

《概要》	<u>主 催</u>	鹿児島県
	<u>実施主体</u>	鹿児島県文化振興財団(みやまコンセール)
	<u>協 力</u>	ジェスク音楽文化振興会
	<u>日 程</u>	2010年8月9日～12日
	<u>会 場</u>	みやまコンセール
《事業内容》	<u>講習会とパネル・ディスカッション</u>	

霧島国際音楽祭の受講生の国際化と水準の高まる中、音楽祭の主催である、鹿児島県よりの要望で鹿児島県の音楽文化の将来を担う人材育成のために実施する事業。企画・運営の一部を担当する。受講料は無料で、受講生は鹿児島県在住者(小学生から大学生)に限られる。音楽祭の講師・アーティストが担当する。09年度は松原勝也氏、若林顕氏が担当した。

(2) その他

- ・音楽祭・音楽会事業の一環(『霧島国際音楽祭』)におけるマスター・クラス、レクチャーコンサート、公開レッスン、ピアノ教師のためのワークショップ実施。

III. 青少年に対する音楽普及活動

(1) 青少年に対する音楽普及活動は、音楽祭・音楽会事業の一環として以下のもの

- ・「霧島国際音楽祭」における青少年のためのコンサート/霧島市における仲道郁代ワンコイン・コンサート、鹿児島市における未就学児のコンサート、ファミリー・コンサート/45分¥500でのコンサートで聴くキッズ・コンサート吹奏楽、ブラスを学ぶ中高生向け、管楽器コンサートの実施 ほか
- ・「宮崎ブロン音楽祭」における地元小中学生のための無料コンサート等実施。
- ・「せんくら」における子供用企画(仲道裕子のピアノ名曲コンサート(仮))等を複数回実施。

(2) 学生券

現在、当財団の関係する公演においては、原則的に学生券を設け、廉価で青少年の音楽会鑑賞を促進している。

IV. 音楽に関する調査・研究事業

今期、具体的な事業は予定していない。

V. 音楽に関する出版物の刊行事業

従来からの楽譜等の頒布を継続しながら、新たな出版に向けて検討を続ける。

刊行物の頒布 [参考] 主要刊行物リスト

ザハール・ブロン編集・解説

「エチュードの技法」

「ヴェータン：ヴァイオリン協奏曲 第5番」

ドヴォルジャーク

「スラヴ舞曲集作品46（連弾）」、「スラヴ舞曲集作品72（連弾）」

「スラヴ舞曲集作品46（スコア）」、「スラヴ舞曲集作品72（スコア）」

「交響曲第8番作品88」、「交響曲第9番作品95」、「チェロ協奏曲作品104」

ショパン／パデレフスキ版

- I. プレリユード、II. エチュード、III. バラード、IV. 即興曲、V. スケルツォ、
VI. ソナタ、VII. ノクターン、VIII. ポロネーズ、IX. ワルツ、X. マズルカ、
XI. 幻想曲・子守歌・舟歌、XIII. 演奏会用アレグロ変奏曲、
XIV. ピアノ協奏曲

子供のためのピアノ曲集・ねこシリーズ

ガルシチャ「ピアノのための小品集」、「わたしと一緒に弾きましょう」

フンジャク「サーカス」

リビツキ「わたしは弾きはじめる」 他

ルー・ハリソン著 「ワールド・ミュージック入門」

☆当財団では、霧島国際音楽祭、関わりのある音楽祭・講習会、またジャパン・アーツ主催のピアノ・リサイタルなどにも引き続き積極的に楽譜を持ち込み会場販売を行う。

VI . 音楽に関する国際交流事業

音楽における国際交流事業は、I . 音楽祭・音楽会事業の一環(「霧島国際音楽祭」や「仙台クラシック」等における交流会開催や海外受講生の招聘、広報活動)として実施する。

VII . その他

以上の他、次の事業を行い、音楽文化振興や国際文化交流に貢献する。

演奏家マネジメント事業

優れた演奏家の育成に努め、その活動を助成する目的により、当財団の趣旨に賛同する演奏家のマネジメント業務を実施し、才能のある若手演奏家のため、リサイタルやオーケストラとの共演の場を設ける。

(※寄付行為 第4条の目的のため、第5条 第7項に則り実施する)

所属演奏家 (2010年3月17日現在)

ザハール・ブロン [ヴァイオリン]

* ケルン音楽大学 チューリッヒ音楽院教授

四方 恭子 [ヴァイオリン]

* 元ケルン放響第一コンミス、兵庫芸術文化センター管弦楽団コンミス、東京都交響楽団コンミス、霧島国際音楽祭招待アーティスト

田中 雅弘 [チェロ]

* 東京都交響楽団首席奏者、霧島国際音楽祭教授

横川 晴児 [クラリネット]

* NHK 交響楽団首席奏者

協力アーティスト

弓 新 [ヴァイオリン]

* 16歳、クールシュヴェール in 笠間、霧島国際音楽祭にも受講生として参加。
ザハール・ブロン、辰巳明子両氏よりの要請でマネジメント協力。

パスカル・ドゥヴァイヨン&村田理夏子 [ピアノ・デュオ]

庄司紗矢香 [ヴァイオリン]

* 2010年10~11月ジャンルカ・カシオーリとのヴァイオリン・リサイタルツアーの主催とマネジメントを行う。